

卷末資料3

用語集

ア行

- ・ アプリケーションソフト
文書作成、表計算、ゲーム、通信など、コンピュータで特定の作業をするためのソフトウェアの総称。
- ・ IT (Information Technology)
情報技術のこと。情報処理技術と同義。情報技術とは、コンピュータによる情報システムを構築・運営・維持するための作業方法、作業手順を中心として、理論やノウハウなどを第三者に伝えられるように記述したもの。
- ・ e-Japan 戦略
日本が 5 年以内(~ 2005) に世界最先端の IT 国家となることを目指した政府の基本的構想。重点政策分野として、超高速ネットワークインフラ整備及び競争政策、電子商取引、電子政府の実現、人材育成の強化が挙げられた。
- ・ インターネット
ネットワークを相互接続した大規模なネットワークのこと。専用線や電話回線で接続し、情報の検索や閲覧、電子メールやファイルの送受信ができる。

カ行

- ・ CALS/EC(Continuous Acquisition and Life-cycle Support / Electronic Commerce)
公共事業支援統合情報システムの略称。「継続的な調達とライフサイクルの支援(CALS)」に「電子商取引(EC)」の考え方を取り入れ、公共事業の計画段階から維持管理段階までのライフサイクル全般にわたってデータベースやネットワークを活用することにより、情報の交換・共有・連携を図っていくことを目的としたもの。
- ・ 工事進行管理システム
工事の工程、進捗状況等の情報をコンピュータで一元管理するシステムのこと。
- ・ コンピュータ
電子回路を用い手数值計算、論理計算を行う装置の総称。電子計算機のこと。

サ行

- ・ サーバ
コンピュータネットワーク環境下で、端末のコンピュータからの要求にしたがって処理を実行するコンピュータ。
- ・ CD-R
データの書き込みが1回だけできるコンパクトディスク。

- GIS(Geographic Information System)
 - デジタル化された地図や地形と、それら地図上の様々な属性データを関連付けて、表示・分析・検索などを行うコンピュータシステムである。日本語では、「地理情報システム」や「地図情報システム」と訳される。
- シミュレーション
 - 本物以外の別物で同じような現象を観測(体験)するもの。また、それによって問題の解決を計ろうとする研究方法。
- 情報セキュリティポリシー
 - 組織がその情報処理業務に対して課す一つ以上のセキュリティ規則、手順、慣行又は指針のこと。
- 情報共有システム
 - 情報技術により場所や時間の制約を受けずに情報共有を実現するためのしくみ。
- 実証実験
 - 実績が少ないため、システムの効果と運用に係る問題点を把握するため行う実験。
- ソフト
 - ソフトウェアのこと。コンピュータを動作させるためのプログラムのこと。

タ行

- ダウンロード
 - ネットワークを介して、インターネット上のホームページやパソコン通信のホストコンピュータなどからファイルを自分のコンピュータに取り込むこと。
- テキストベース
 - 文字や記号からなる文字列、文章で作成するファイルの作成方法。
- 電子媒体
 - フロッピーディスク、CD、MO 等の電子データを格納するためのもの。
- 電子納品保管・管理システム
 - 電子成果物を効果的に保管・管理するため運用されるシステムのこと。作成された電子成果物を適切に保管・管理する事により、迅速な利活用が可能となり、発注者側における業務の効率化・品質の向上を図ることが期待される。
- データベース
 - 不特定多数の利用者が特定領域分野から関連するデータを利用できるように創られた情報源。

- ・ 電子自治体

地方公共団体のあらゆる業務に IT を活用することにより、行政サービスの向上および業務効率化を狙うもの。国では 2003 年度までに申請・届出等行政手続をネットワークを通して行う電子政府の実現を目指し、行政サービスを全国的に展開するためには地方公共団体の電子化(地域情報化)が不可欠となっている。
- ・ 電子申請

インターネット等ネットワークを利用し、政府機関への申請・届出等を電子的に可能にするシステム。
- ・ 電子政府(e-Government)

行政情報化推進共通実施計画(1999 年改)で描かれた、電子化された行政府の総称。
- ・ 電子入札

インターネット上でのやり取りで入札を行うこと。インターネット上でのやり取りであるため、本人の確認を確実にを行うために電子認証を利用する。国土交通省では、2001 年 10 月より一部直轄事業を対象に運営を開始し、多くの発注機関で対応を準備中である。
- ・ 電子認証

ネットワークを介してデータのやりとりをしている相手が真に本人であること、データが改変されていないこと、処理が正当に行われたことを電子的に確認すること。電子商取引等の信頼性を確保する上での基本的な要素となる。
- ・ 電子納品

調査・設計・工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいい、2001 年度より国土交通省直轄事業において開始された。
- ・ 統合型 GIS

庁内で共有できる空間データを明確化し、その整備・管理用を実現している情報システムの形態のこと。

ナ行

- ・ 入札情報サービス

各地方整備局や各工事事務所等が掲示板や閲覧等で公表していた発注予定情報、発注情報、入札結果を、ホームページ上で一元的に提供するものである。PPI(Public works Procurement Information service)とも呼ばれている。
- ・ ネットワーク

通信で結ばれた複数のコンピュータ及び管理機器全体やその通信路のこと。

八行

- ・ ハード

ハードウェアのこと。コンピュータの電子・機器装置のこと。対義語はソフトウェア。

- ・ ビジュアル

「視覚的」、「目に見える」ということ。

- ・ ペーパーレス化

紙中心の行政内部事務を対象に、行政事務の効率化、高度化を図ることを目的としてペーパーレス化(電子媒体化)を推進すること。

マ行

- ・ MO(magnet-optical)

光磁気ディスク。

ラ行

- ・ ライフサイクル

公共事業におけるライフサイクルは、調査・計画、設計、施工、管理に至る全てのプロセスの総称。

ヤ行

- ・ ユニバーサルデザイン

年齢、性別、国籍(言語)や障害の有無に関係なく、最初からだれもが利用できる製品、建物や環境のデザインを意味する。今日ではより広い概念として「すべての人が生活しやすい社会のデザイン」と考えられている。